

2011/6/6赤沼さんより【吉田さん情報】

熊谷ラグビースクール・熊谷工業・日体大・釜石シーウェブで活躍された吉田祐太さんが行田市報いきいき行田人に登場されました。

広場

いきいき行田人

ONE FOR ALL, ALL FOR ONE
一人はみんなのために、
みんなは一人のために

吉田 祐太さん (29歳・長野)

今月は、東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方の復興に奮闘する元ラグビーマンの吉田祐太さんを紹介します。

「物心がついたときには楕円形のボールを抱えていました」と語る吉田さんは、両親がラグビー好きという影響から、小学1年生のときに本格的にラグビーを始め、中学、高校、大学とチームの主軸として活躍しました。大学卒業後、ラグビー大国のオーストラリアへ留学。「海外での経験を生かしてほしい」という知人の紹介により、26歳のとき、岩手県釜石市に拠点を置くクラブチーム「釜石シーウェーブ」に入団し、2年間スクラムハーフとして活躍しました。同クラブの前身は、かつて前人未到の日本選手権7連覇を達成した新日鉄釜石ラグビー部。平成13年から地域に密着したクラブチームに生まれ変わり、現在トップフリーストというリーグに所属しています。



したりとハードな日々を過ごしました。でも、自分を成長させるチャンスだと思い、つらいと感じることはありませんでした」と充実した日々を振り返るとともに「地域ぐるみで応援してくれて、本当にありがたかった」とクラブを支えてくれた釜石市の皆さんに感謝の気持ちも忘れません。現役引退後、岩手県内の高校で教師として教壇に立つとともに、東北地方のラグビー普及に努めていた吉田さんは、3月11日に発生した東日本大震災に遭遇。地震発生直後のまちは、当たり前前のが当たり前前にできなくなるほど悲惨な状態だったそうです。

4月から母校の県立熊谷工業高等学校に赴任し、ラグビー部のコーチとして指導に当たる吉田さんは、現役時代に新日鉄釜石ラグビー部で活躍し、現在同校ラグビー部の監督を務める新野好之先生と共に「お世話になったまちに恩返しを」と試合会場などでラグビー部員と一緒に募金活動を行ったほか、釜石市など被災した地域にラグビージャージやボールを届けに行きました。「ラグビーを通して一人はみんなのために、みんなは一人のために」という精神を学びました。今こそ心を一つに、被災者のために助け合っていくことが大切」と復興に向けて熱いメッセージを送る吉田さん。「北の鉄人」の魂を引き継ぐ男はこれからも被災地の復興に向けて仲間とともにスクラムを組み続けます。

ボックス



池村 章宏 (SH)



八重樫 俊介 (SH)



佐々木 啓佑 (SH)



吉田 祐太 (SH)



長田 剛 (SH)



ヒタ・アラキ (SQ/OTB)



小原 義巧 (SQ/OTB)



名前	吉田 祐太
身長/体重	172cm/79kg
ポジション	SH
生年月	1982/4/15
出身校/出身地	熊谷工業高～日体大
所属	岩手県立釜石祥雲支援学校
サポーターの皆様方へ	シーウェブス二年目シーズン。チームのために走ります！応援お願いします。